

県民（けんみん）の皆様（みなさま）へ

1 国（くに）が 8日（ようか）に 発表（はっぴょう）した南海（なんかい）トラフ地震（じしん）[大地震注意]（おおじしんちゅうい）の 特別（とくべつ）な お知（し）らせは 8月（がつ）15日（にち）17時（じ）に 終（お）わりました。

みなさんは、兵庫県（ひょうごけん）や市（し）・町（ちょう）からの お知（し）らせや 国（くに）の機関（きかん）からの 正（ただ）しい情報（じょうほう）を 聞（き）いて、おちついて 行動（こうどう）してくれました。ありがとうございました。

2 マグニチュード8～9ぐらいの 南海（なんかい）トラフ地震（じしん）が、これから30年（ねん）以内（いない）に おきる確率（かくりつ）は 70～80%です。地震（じしん）が おきるかもしれないことは、これまでと 変（か）わりません。

※確率（かくりつ） パーセンテージ

みなさんは、地震（じしん）・津波（つなみ）の 準備（じゅんび）を 続（つづ）けてください。また、避難（ひなん）についても、考（かんが）えて 準備（じゅんび）を 続（つづ）けてください。

※避難（ひなん） 安全（あんぜん）なところへ にげること

3 自分（じぶん）の 命（いのち）、大切（たいせつ）な人（ひと）の 命（いのち）を守（まも）るため、次（つぎ）の ようなことを してください。

例（たと）えば、

- ・本棚（ほんだな）などの 家具（かぐ）を たおれないようにする
- ・避難（ひなん）の時（とき）に 持（も）っていくものを まとめて かばんに 入（い）れる
- ・避難場所（ひなんばしょ）と 行（い）き方（かた）を 確認（かくにん）する
- ・避難（ひなん）の 後（あと）、どうやって 連絡（れんらく）をとるか 家族（かぞく）と 相談（そうだん）する
- ・地震（じしん）や 津波（つなみ）の後（あと）のために 水（みず）や食（た）べ物（もの）を 家（うち）に 置（お）く
- ・感震（かんしん）ブレーカーを つける

※感震ブレーカー 大地震（おおじしん）の時（とき）、電気（でんき）を 止（と）めるもの

- ・建物（たてもの）を地震（じしん）に 強（つよ）くなるように 修理（しゅうり）する などです。

兵庫県知事（ひょうごけんちじ）

齋藤元彦（さいとう もとひこ）